

1 こども園経営基底

「かすがこども園」では、乳幼児期の教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであると考える。そのため、乳幼児期全体をとおして、その特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境をとおして行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものとなるように努める。

このため保育教諭等は、園児との信頼関係を十分に築き、園児が自ら安心して身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づく。これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を活かし、その活動が豊かに展開されるよう環境を整え、園児とともにより良い教育及び保育の環境を創造することをめざす。これらを踏まえ、次に示す事項を重視して教育及び保育を行う。

- (1) 周囲との信頼関係に支えられた生活の中で、園児一人ひとりが安心感と信頼感を持っていろいろな活動に積極的に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする。
- (2) 園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- (3) 主体的な遊びをとおしての指導を中心として、そのねらいに沿って総合的に達成されるようにする。

2 園訓 「きらめく 体・心」

3 園の目標 「いきいきと健やかに 人間性豊かな かすがっ子の育成」

- (1) こども園像 「一人ひとりを大切にする教育及び保育」
- (2) 園児像
 - * なかよく元気な子ども
 - * 明るく素直な子ども
 - * あいさつのできる子ども
- (3) 保育教諭像
 - 一人ひとりの思いや願いを受容し、園児がのびのびと楽しく安心して園生活を送れるように、温かい保育愛に満ちた教育及び保育の充実に努める。
 - * 仕事に対する誇りと責任を持つ保育教諭
 - * 専門的な知識・資質を持ち創造的な保育を推進する保育教諭
 - * 人間性豊かで、信頼される保育教諭

4 教育及び保育の努力目標

- (1) 教育及び保育を総合的に推進するために
 - * 保育体制の充実に図り、人間的なふれあいに基づく教育及び保育を推進する。
 - * 家庭的なぬくもりのある環境の中で、基本的な生活習慣の自立をめざす。
 - * 調和のとれた教育及び保育を行い、生涯学習の基礎づくりを行う。
 - * 家庭や地域社会との連携を図り、園児の成長を支援する。
- (2) 基本的な道徳教育を推進するために
 - * 「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」など、あいさつが素直にできる。
 - * 友だちと仲良く生活し、自他ともに大切にできる子の育成を図る。
 - * 自然に親しみ、豊かな感性と優しい心を培う。
- (3) 安心・安全な環境づくりを推進するために
 - * 豊かな心を育み、安心と信頼をもって、自ら学ぼうとする生活環境づくりを進める。
 - * 家庭と連携して個々の疾病の予防に努め、保健衛生の充実に図る。
- (4) より良い教育・保育を充実するために
 - * 保育の質の向上を図るためには、職員同士が主体的に学び合う姿勢と環境を作る。
 - * 研修から実践へつながる行動力と好奇心を持ちながらお互いに切磋琢磨する環境を作る。
 - * 特別支援が必要な子どもに対して個々の特性を把握し、専門的な知識を身につけるための研修を積む。
 - * 自己評価に基づく課題等を踏まえ、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上に努める。